

今日は誰かの『すし曜日』

「おすし」を食べる契機や動機は一体なんだろう。アンケートをした訳でない。データはない。推測の域を出ないが、各位がこう思われるであろうところを思いつくままに、消費者サイドの観点により、書き出してみた。→以降は提供サイドからのコメント

①奮発して「おすし」を食べに行こうと思うほど、良いことがあった。②奮発とはいかないが、比較的安価な店に出かけるだけの少しだけ良いことがあった。→奮発と思えない程の価格での提供と、この価格でこの美味しさに出会えたことの満足感・割安感の提供。と毎日とはいかないまでも、1年52週、少なくとも、52回/年程度「おすし」を食べようと思えるほどの好事『すし曜日』がありますように、心より祈念申し上げます。

③「おすし」が好き。いや、大好きである。→一層そうおっしゃる方が大幅増加と期待可能な「おすし」の提供。他の食べ物に心変わりされない、よりよい「おすし」の提供。

④嫌なことがあったので「気晴らし」「憂さ晴らし」で。→その美味しさにより、スッキリ忘れられる「おすし」の提供。少しでも笑顔が戻れば幸いである。

⑤たまたま入った店にあったから。（買った。食べた。）→たまたまから、進んで求められる「おすし」の提供・店舗の雰囲気作り。昔すし屋へは、ブラッと入って気軽に食べるものだった。本来「おすし」は身構えて食べるものでない。「たまたま」もよいのかも。

⑥食べたいから。食べなくなったら。→恒常的にそうなる「おすし」の提供。

⑦つきあい。→仕方なくではなく、喜んでそうなる「おすし」の提供。

⑧単調な食生活にバリエーション・アクセント・彩（適当な言葉は決められない）を。→定期的にそう思える「おすし」の提供。あくまで「おすし」は非日常食。

⑨ゴチ。→する方、される方双方が喜ぶ「おすし」の提供。

⑩なんとなく買った。→欲しくてたまらない「おすし」の提供。

⑪お気に入りの店。美味しい「おすし」があるから。→需要-供給動機的一致。

⑫お金がたくさんあるから。→言ってみたいな～よその国。プレミアム商品の提供。

「おすし」は、間違いなく「ハレ」の食べ物。ある一人の方にとって、毎日々々良いことがあり、毎日々々が『すし曜日』。そうは問屋が卸さないし、娑婆とは、煩惱や苦しみの多いこの世のことである。そんなに甘くはない。しかし、不特定の誰かにとっては、その日が『すし曜日』であることは十分ありえる。そして、毎日誰か（大多数を願う）が日替わりで『すし曜日』となり得るのである。そして、お客様が躊躇することなく注文されるように、その期待を裏切る事がないように、供給側は、準備を怠ってはならない。

多くの皆様方にとって、今日が『すし曜日』となりますように。